

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	人々の生活を支える存在	事務局	102
学校名	新庄市立新庄中学校	氏名	伊藤 ^{こな} 心絆

私が今回の仕事体験で訪れたのは、県立新庄病院でした。求人票を見て事業所を選ぶとき、私は迷わずこの病院を選びました。その理由は、私が幼いころに入院したときの経験にあります。手術を控えて不安でいっぱいだった私に、看護師さんが「大丈夫だよ。」と優しく声をかけてくれたり、点滴の包帯にかわいい絵を描いてくれたりしたことが、今でも心に残っているからです。そのときの安心感や温かさが、私の中で「将来は看護師になりたい」という夢を生むきっかけになりました。

仕事体験の前には、マナー講座を受け、面接にも挑戦しました。マナー講座では、あいさつの仕方や言葉づかい、身だしなみなど、社会人としての基本的なマナーを学びました。普段の学校生活ではあまり意識していなかったことばかりで最初は少し戸惑いましたが、「働く」ということは相手に信頼される態度をとることから始まるのだと感じました。

面接では、「なぜこの事業所を選んだのか？」と聞かれ、私は自分の体験をもとに、看護師という仕事に憧れを持ったことを伝えました。とても緊張しましたが、自分の思いを自分の言葉で伝えることの大切さを学びました。また、面接の場では、相手の目を見て話すことや丁寧な言葉づかい、姿勢など、普段の生活ではあまり意識していなかったことにも気づかされました。面接を通して、「働く」ということは人と人との信頼関係を築くことから始まるのだと実感しました。

実際に病院での仕事体験が始まると、想像していた以上に多くのことを学ぶことができました。まず、患者さんの血圧や酸素濃度を測る体験をさせていただきました。機械の使い方を教えてもらいながら、実際に患者さんに声をかけて測定を行うときはとても緊張しましたが、患者さんが「ありがとう」と言ってくれたとき、心が温かくなりました。また、車いすを押してリハビリテーション室まで患者さんを案内する体験もしました。移動中に担当の看護師さんと少し会話をしたのですが、その中で、「どんな時でも患者さんのプライバシーを守ることと安全確認をすることを大切にしているんだよ。」と真剣に教えてくださったことが印象に残っています。

さらに、理学療法士の方からも直接お話を聞く機会がありました。理学療法士の方は、患者さんが少しでも自分の力で動けるように、それぞれの患者さんにあったりハビリの計画を立て、励ましながら支えているということを話してくださいました。他にも、作業療法士、言語療法士の方々もいらっしやいました。どの職も、ただ「作業をする人」ではなく、「人々の生活を支える存在」なのだと感じました。また、担当してくださった看護師さんは、なんでも患者さん中心に行動していること、患者さんと接するときに、自分がされたらどう思うかを考えて接するという心がけを教えてくださいました。そして、患者さん一人一人の気持ちに寄り添うことの大切さも学ばせてくださいました。

病院の中では、患者さんの命や生活に直接関わる仕事が多く、どの職員の方も真剣な表情で仕事に取り組んでいました。その姿を見て、私は「責任を持って働く」ということの重みを感じました。

職場体験 感想文コンクール

「 人々の生活を支える存在 」 新庄市立新庄中学校 伊藤 心絆

特に印象に残っているのは、看護師さんが患者さんの話をじっくり聞きながら、温かな会話をされていた場面です。忙しい中でも、患者さんの気持ちに寄り添う姿勢に、私は強く心を打たれました。看護師という仕事は、医療の知識や技術だけでなく、人の心に寄り添う力も求められるのだと実感しました。

また、病院の中で働く人たちは、患者さんだけでなく、職員同士の連携もとても大切にしていることがわかりました。看護師さんと理学療法士さん、医師や事務の方々が、それぞれの立場から患者さんを支え合っている姿を見て、「チームで働く」ということの大切さも学びました。一人ではできないことも仲間と協力することでより良い結果につながる、ということを実際の現場で感じることができました。

この仕事体験を通して、私は「働く」ということの意味を深く考えるようになりました。新中ハローワークでの事前学習では、求人票の見方や職業の種類について学びましたが、実際に仕事体験を終えた今、「働く」とは、自分の力を誰かのために使うことだと感じています。働くことには責任があり、時には大変なこともあるけれど、その中にやりがいや喜びがあるのだと気づきました。

また、自分に合った仕事を見つけるためには、自分自身をよく知ることが大切だと感じました。仕事体験での経験が今の私にはとても響いています。私は今回の仕事体験を通して、「人の気持ちに寄り添いたい」「誰かの力になりたい」という自分の思いを再確認することができました。将来、看護師になるという夢に向かって、これからも勉強や人との関わりを大切にしていきたいと思います。

今回の仕事体験は、私にとって「将来を考えるきっかけ」になっただけでなく、「今の自分を見つめ直す時間」にもなりました。働くことは、ただお金を得るための手段ではなく、人と人々が支え合い、つながり合うための大切な行動なのだと感じました。

どんなときも人の声に耳を傾け、自分の言葉で寄り添える、そんな人に私はなりたい。